

国営緊急農地再編整備事業 「穴道湖西岸地区」が始まります

穴道湖西岸地区の農地は、狭小なほ場区画で、降雨時は水が溜まるなどして、生産性の高い農業への転換を図ることが困難でした。

このような状況を改善するために、国営緊急農地再編整備事業により、水田と農業用の排水施設を一体的に整備することで、優良農地を確保し、水稲単作農業からの脱却を図りながら、市場のニーズと高い収益が見込める作物の生産へ転換を図ります。

受益地区：平田地域の灘分、西代、

くじのみかもろ
国富中村、布崎地区

事業工期：2018年度～2029年度

総事業費：260億円

(区画整理130億円、
排水施設130億円)

排水施設130億円

受益面積：456ヘクタール

主要工事：区画整理448ヘクタール

農業用排水456ヘクタール

排水機場 3か所

幹線排水路(新設)

3.3キロメートル

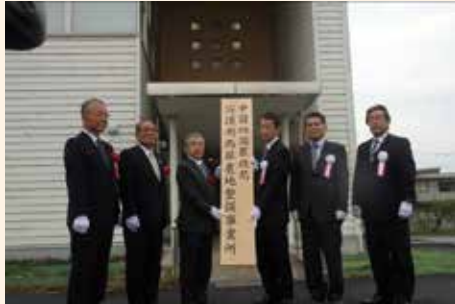
幹線排水路(改修)

9.2キロメートル

中国四国農政局穴道湖西岸農地整備事業所 看板掲式と開所式の様子(10月10日開催)



開所式で祝辞を述べる長岡市長



看板掲式の様子

左から
穴道湖西岸地区農村整備推進協議会 多久和会長
長岡出雲市長、溝口島根県知事、中国四国農政局
大浦局長、中国四国農政局 宮森部長、中国四国農
政局穴道湖西岸農地整備事業所 井所長

おたすね／農林基盤課 国営事業対策室

☎055111

となりの

ミコトツキ

第40回



「トキ公開施設完成」

市では、平成20年にトキ分散飼育地として、国の決定を受け、平成23年1月22日に佐渡から来た2ペアのトキによる分散飼育をスタートしました。



※分散飼育センター南側に建設された公開施設

当初から飼育施設は非公開となっており、トキの姿は、学習コーナーのモニターでしか見ることができませんでした。
より多くの人にトキの姿を見てもらうために、市では平成26年からトキの一般公開に向けた準備・調整を進め、今年度初めには公開施設の建設に着手し、11月に完成しました。

実際に見てもらおうトキは、13歳、12歳、9歳、4歳のオス4羽です。公開用の個体は、現在施設に慣れるための訓練を行っています。

今年度は、12月15日から12月28日まで試験公開を行ったのち、一旦閉鎖し、繁殖期が終わるのを待って来年度7月1日に一般公開をスタートする予定です。



No.497 (BRオス)



No.178 (AKオス)



No.106 (環境省提供)



No.212 (BBオス)

おたすね／出雲市トキ分散飼育センター

☎01350